

1 課

現状確認

4月4日

安息日午後

3月28日

暗証聖句

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。(ヨハネ 15:9、新共同訳)

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛したのである。わたしの愛のうちになさい。(ヨハネ 15:9、口語訳)

今週の聖句

黙示録 3:14~22、黙示録 4:9~11、創世記 2:7、創世記 3:8~10、
エレミヤ 31:3、4、ヨハネ 15:1~11、ローマ 8:9~11

今週のテーマ

あなたは、神との現在の関係をどのように表現するでしょうか。それは、生き生きとした強い関係ですか。あなたは神との関係に時間を費やし、神の靈感を受けた御言葉を調べ、友として神に語りかけていますか。もしそうしているなら、どれくらいの時間を用いているでしょうか。

また、神との関係があなたの人生において最もすばらしい関係であるために、それをほかの人に伝えたいという思いに駆られていますか。それとも、時間が経つにつれて、神との関係は弱まりつつあるでしょうか。神とのつながりは確かにあるし、時々確認はするけれど、正直なところ、かつてほどもう強くはないかもしれません。あるいは、そのどちらでもなく、聖書が言う「なまぬるい」(黙 3:16)状態に、あなたはいるかもしれません。

天使たちは、なぜ私たちが救い主、あがない主を心から慕い、飢えた心と熱い思いをもって日々神に近づこうとしないのかと、不思議に思っているのではないのでしょうか。真に、神との関係は、この世において、また永遠にわたって、すべてを変えるからです。

今週は、神と私たちの関係の現状と、私たちに對する聖書の助言について考えてみましょう。実際、私たちは自分自身の現状を正直に確認し、イエスが示してくださる解決策に耳を傾けるまでは、今の状態からより良い状態へ移ることはできません。

黙 3:16 (新共同訳)
3:16 熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。

黙 3:16 (口語訳)
3:16 このように、熱くもなく、冷たくもなく、なまぬるいので、あなたを口から吐き出そう。

| | | |
|-----|-------|--------|
| 日曜日 | 3月29日 | 私たちの状態 |
|-----|-------|--------|

もしイエスが、あなたとご自身との現在の関係を説明されるとしたら、何と言われるだろうかと考えたことがありますか。もしかするとイエスは、「強い関係だよ」とか、「以前はもっと強かったよね」と言われるかもしれません。では、イエスがこの終末時代に生きるご自分の民を描写されるとしたら、何と言われるだろうかと考えたことはありますか。黙示録3:14~22で、イエスは実際にその姿を描写しておられます。

イエスはまず、ご自分が「忠実な、まことの証人、神に造られたものの根源であるかた」(黙3:14、口語訳)であると述べておられます。忠実な、まことの証人は嘘をつかず、率直に正直に語られます。

問1 黙示録 3:14~17 を読んでください。ここでイエスは、現在のご自分の民の霊的な状態について述べておられます。これらの聖句は、あなた個人をどれほどよくあらわしていますか。

終末時代に生きるクリスチャンである私たちに対して、イエスは私たちを知っていると語っておられます。私たちは熱くも冷たくもありません。なぜなら、自分たちは何も必要ないと思いつているからです。日々の生活の中で、私たちは神と少しだけ時間を過ごし、それで十分だと思っています。しかし、そうではありません。それどころか私たちは、自分が自覚しているよりずっと切実に神を必要としているのです。イエスは、私たちがまずいので、口から吐き出そうと言っておられます。しかし、まだそうされてはならず、今、大胆な選択をしなさい、と私たちに求めておられるのです。

問2 黙示録 3:18、19 で、イエスはどんな助言を与えておられますか。

古代において、「買う」とは、物々交換を意味していました。イエスはここで、ご自分の金、白い衣、目に塗る薬を、私たちの無関心と交換しようと気前よく申し出しておられます。私たちをご自分の目に富んだ者とし、私たちを義の完全な衣で覆い、私たちの目を開き、ご自分との永続的な関係がいかにすべてを根本から変えるかという真理を見せたいと願っておられるのです。またイエスは、私たちの必要とするものはすべて与えてくださいます。私たち自身では満たすことができないからで

す。ただし、それは私たちが望む場合に限られます。

【参考】英語テキストにある文

If you find it painful to look at yourself and your own spiritual condition, what hope is offered you in these verses for today?

もしあなたが自分自身や自分の霊的な状態を見つめることが辛いと感じるなら、今日の聖句はあなたにどんな希望を与えてくれるでしょうか。

5

黙 3:14~19 (新共同訳)

3:14 ラオデキヤにある教会の天使にこう書き送れ。『アメンである方、誠実で真実な証人、神に創造された万物の源である方が、次のように言われる。

3:15 「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい。

3:16 熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。

3:17 あなたは、『わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と言っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かっていない。

3:18 そこで、あなたに勧める。裕福になるように、火で精錬された金をわたしから買うがよい。裸の恥をさらさないように、身につける白い衣を買い、また、見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい。

3:19 わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。

黙 3:14~19 (口語訳)

3:14 ラオデキヤにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。『アメンたる者、忠実な、まことの証人、神に造られたものの根源であるかたが、次のように言われる。

3:15 わたしはあなたのわざを知っている。あなたは冷たくもなく、熱くもない。むしろ、冷たいか熱いかであってほしい。

3:16 このように、熱くもなく、冷たくもなく、なまぬるいので、あなたを口から吐き出そう。

3:17 あなたは、自分は富んでいる。豊かになった、なんの不自由もないと言っているが、実は、あなた自身がみじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者であることに気がついていない。

3:18 そこで、あなたに勧める。富む者となるために、わたしから火で精錬された金を買い、また、あなたの裸の恥をさらさないため身につけるように、白い衣を買いなさい。また、見えるようになるため、目にぬる目薬を買いなさい。

3:19 すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。

月曜日 3月30日 叱り、悔い改め、報いる

イエスは黙示録3:19で、「わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ」[口語訳「すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい」]と語っておられます。私たちの誰もが、イエスは私や私の将来に関心など寄せておられないと、一瞬た

りとも、正当に主張することはできません。イエスにとって、人類を見限り、この地上で選ばれた辛い道を歩まないほうが、どれほど楽だったことでしょう。イエスは私たちを深く愛しておられるからこそ、私たちの現状を叱責されるのです。彼は、私たちとの関係がもっと強く、深くなることを望んでおられます。離れたり、くっついていたりするような私たちの態度、つまり「困ったときの神頼み」的な態度には満足なさいません。

イエスは私たちの益のために私たちを叱り、悔い改めなさいと言われます。しかし、何かが間違っていることに気づかなければ、私たちは悔い改めることができません。イエスは私たちのどこが間違っているのかをはっきり教えてください。私たちは、自分が金持ちだと思っていますが、実は、「**口語訳「みじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸の者」**」(黙3:17)なのです。

問3 黙示録 3:20 を読んでください。ここで私たちはどんなことを約束されていますか。しかし、その約束を受けるためには、どうしなければなりませんか。

これは実に美しく、すばらしい言葉の描写です。宇宙の神があなたや私と共に食事をしたいと願っておられるのです。おいしい食事を囲んで、関わり合い、語り合うことを、神が望まれています。イエスは親密で永続的な関係を望み、私たちにこのような関係を持つようにと、招いておられるのです。

イエスは辛抱強く、あなたの心の扉を叩きながら待っておられます。おそらくあなたは、子どもの絵本などで、背が高く、優雅な救い主が優しく扉をノックしている絵を見たことがあるでしょう。イエスは、無理やり押し入って、あなたと話すことを強いることはありません。あなたの時間や忙しい生活に割り込むこともありません。しかし、時間は限られています。ですから、もし主のノックする音が聞こえたら、扉を開けてください。イエスはそこにおられ、あなたの人生に入って来てくださるでしょう。

この比喩は、イエスが私たちとどんな関係を築きたいと願っておられるかを示しています。いつの日か、あなたがイエスと直接お会いし、数えきれない人々と共に創造主を礼拝し、自分の冠をイエスの足もとに投げ出すとき(黙4:9~11)、あなたは地上でイエスと共に過ごした時間を後悔するでしょうか。

【参考】英語テキストにある文

Right now, Jesus is knocking. He is calling. You, though, have to make the conscious choice to open your heart to Him. How can viewing the Cross and thinking about what it means inspire you to make that choice?

まさに今、イエス様は扉をノックしておられます。イエス様は呼びかけておられます。しかし、イエス様に心を開く意識的な選択を、あなたはしなければなりません。十字架

を見つめ、その意義について考えることが、どうしてその選択をするようにあなたを奮い立たせるのでしょうか。

6

黙 3:17~20 (新共同訳)

3:17 あなたは、『わたしは金持ちだ。満ち足りている。何一つ必要な物はない』と言っているが、自分が惨めな者、哀れな者、貧しい者、目の見えない者、裸の者であることが分かっていない。

3:18 そこで、あなたに勧める。裕福になるように、火で精錬された金をわたしから買うがよい。裸の恥をさらさないように、身に着ける白い衣を買い、また、見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい。

3:19 わたしは愛する者を皆、叱ったり、えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。

3:20 見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をすであらう。

黙 4:9~11 (新共同訳)

4:9 玉座に座っておられ、世々限りなく生きておられる方に、これらの生き物が、栄光と誉れをたたえて感謝をささげると、

4:10 二十四人の長老は、玉座に着いておられる方の前にひれ伏して、世々限りなく生きておられる方を礼拝し、自分たちの冠を玉座の前に投げ出して言った。

4:11 「主よ、わたしたちの神よ、あなたこそ、栄光と誉れと力とを受けるにふさわしい方。あなたは万物を造られ、御心によって万物は存在し、また創造されたからです。」

黙 3:17~20 (口語訳)

3:17 あなたは、自分は富んでいる。豊かになった、なんの不自由もないと言っているが、実は、あなた自身がみじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者であることに気がついていない。

3:18 そこで、あなたに勧める。富む者となるために、わたしから火で精錬された金を買い、また、あなたの裸の恥をさらさないため身に着けるように、白い衣を買いなさい。また、見えるようになるため、目にぬる目薬を買いなさい。

3:19 すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。

3:20 見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にすであらう。

黙 4:9~11 (口語訳)

4:9 これらの生き物が、御座にいまし、かつ、世々限りなく生きておられるかたに、栄光とほまれとを帰し、また、感謝をささげている時、

4:10 二十四人の長老は、御座にいますかたのみまえにひれ伏し、世々限りなく生きておられるかたを拝み、彼らの冠を御座のまえに、投げ出して言った、

4:11 「われらの主なる神よ、あなたこそは、栄光とほまれと力とを受けるにふさわしいかた。あなたは万物を造られました。」

火曜日 3月31日 永遠の愛

私たちの無気力な状態を描写したあと、イエスは、それが克服すべきもののだと言われます。「勝利を得る者を、わたしは自分の座に共に座らせよう。わたしが勝利を得て、わたしの父と共にその玉座に着いたのと同じように」〔口語訳「勝利を得る者には、わたしと共にわたしの座につかせよう。それはちょうど、わたしが勝利を得てわた

しの父と共にその御座についたのと同様である」(黙3:21)。私たちの中には、自分の弱さ、自己満足の状態に気づき、イエスの叱責を受け入れ、悔い改め、イエスの義の衣を着せていただくことが、これまでに直面した最大の戦いであると考える人もいるかもしれません。

驚かされるのは、イエスが私たちの無関心で生ぬるい状態を理解し、ご自分を私たちに重ね合わせておられることです(イエスが生ぬるいお方だったということではありません)。イエスは、「勝利を得る者を、……わたしが勝利を得……たのと同じように」〔口語訳「勝利を得る者には、……わたしが勝利を得……たのと同様である」〕(黙3:21)と言われます。私たちを救うために死んでくださったがゆえに、イエスは罪とその罰に勝利されました。彼は、私たちが直面する罪との戦いを理解し、私たちを助けると約束しておられます。

聖書に登場する多くの人は、神との契約関係に入りなさいという神の招きに応じました。これは聖書全体を貫く物語であり、主題です。このような人たちの幾人かを見てみると、神がその時々異なる形で彼らと関わられたことがわかります。

問4 これらの聖句は、神がさまざまな状況において人々とどう関わられるかについて、どんなことを教えてくれますか。

創世記 2:7、3:8~10

創世記 5:24

創世記 6:13

創世記 12:1~4

出エジプト記 34:29

神がご自分の子らと一緒に歩かれたにせよ、ただ語りかけられたにせよ、実際のところ、神は常に人間の近くにいたいと願ってこられました。あなたと神との関係が現在どのようなものであろうと、次の聖句からわかるように、神はあなたの近くにいたいと願っておられます。「遠くから、主はわたしに現れた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し/変わることなく慈しみを注ぐ。おとめイスラエルよ/再び、わたしはあなたを固く建てる」〔口語訳「主は遠くから彼に現れた。わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた。イスラエルのおとめよ、再びわたしはあなたを建てる、あなたは建てられる」〕(エレ31:3、4)。

神はあなたを探し求め、待ち、あなたを引き寄せたいと願っておられます。あなたとの関係を築きたい、再構築したいと願っておられるのです。

【参考】英語テキストにある文

What are the things in your life right now that, unless overcome, can and do hinder your relationship with God?

今のあなたの人生において、乗り越えなければ神との関係を妨げてしまう、あるいは妨げる可能性のあるものは何ですか。

7

黙 3:21 (新共同訳)

3:21 勝利を得る者を、わたしは自分の座に共に座らせよう。わたしが勝利を得て、わたしの父と共にその玉座に着いたのと同じように。

創 2:7 (新共同訳)

2:7 主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

創 3:8~10 (新共同訳)

3:8 その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、

3:9 主なる神はアダムを呼ばれた。「どこにいるのか。」

3:10 彼は答えた。「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。わたしは裸ですから。」

創 5:24 (新共同訳)

5:24 エノクは神と共に歩み、神が取られたのでいなくなった。

創 6:13 (新共同訳)

6:13 神はノアに言われた。「すべて肉なるものを終わらせる時がわたしの前に来ている。彼らのゆえに不法が地に満ちている。見よ、わたしは地もろとも彼らを滅ぼす。

創 12:1~4 (新共同訳)

12:1 主はアブラムに言われた。「あなたは生まれ故郷/父の家を離れて/わたしが示す地に行きなさい。

12:2 わたしはあなたを大いなる国民とし/あなたを祝福し、あなたの名を高める/祝福の源となるように。

12:3 あなたを祝福する人をわたしは祝福し/あなたを呪う者をわたしは呪う。地上の氏族はすべて/あなたによって祝福に入る。」

12:4 アブラムは、主の言葉に従って旅立った。ロトも共に行った。アブラムは、ハランを出発したとき七十五歳であった。

黙 3:21 (口語訳)

3:21 勝利を得る者には、わたしと共にわたしの座につかせよう。それはちょうど、わたしが勝利を得てわたしの父と共にその御座についたのと同様である。

創 2:7 (口語訳)

2:7 主なる神は土のちりで人を造り、命の息をその鼻に吹き入れられた。そこで人は生きた者となった。

創 3:8~10 (口語訳)

3:8 彼らは、日の涼しい風の吹くころ、園の中に主なる神の歩まれる音を聞いた。そこで、人とその妻とは主なる神の顔を避けて、園の木の間に身を隠した。

3:9 主なる神は人に呼びかけて言われた、「あなたはどこにいるのか。」

3:10 彼は答えた、「園の中であなたの歩まれる音を聞き、わたしは裸だったので、恐れて身を隠したのです」。

創 5:24 (口語訳)

5:24 エノクは神とともに歩み、神が彼を取られたので、いなくなった。

創 6:13 (口語訳)

6:13 そこで神はノアに言われた、「わたしは、すべての人を絶やそうと決心した。彼らは地を暴虐で満たしたから、わたしは彼らを地とともに滅ぼそう。

創 12:1~4 (口語訳)

12:1 時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。

12:2 わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。

12:3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地のすべてのやからは、あなたによって祝福される」。

12:4 アブラムは主が言われたようにいで立った。ロトも彼と共にいった。アブラムはハランを出たとき七十五歳であった。

出 34:29 (新共同訳)

34:29 モーセがシナイ山を下ったとき、その手には二枚の掟の板があった。モーセは、山から下ったとき、自分が神と語っている間に、自分の顔の肌が光を放っているのを知らなかった。

エレ 31:3、4 (新共同訳)

31:3 遠くから、主はわたしに現れた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し/変わることなく慈しみを注ぐ。

31:4 おとめイスラエルよ/再び、わたしはあなたを固く建てる。再び、あなたは太鼓をかかえ/樂を奏する人々と共に踊り出る。

出 34:29 (口語訳)

34:29 モーセはそのあかしの板二枚を手にして、シナイ山から下ったが、その山を下ったとき、モーセは、さきに主と語ったゆえに、顔の皮が光を放っているのを知らなかった。

エレ 31:3、4 (口語訳)

31:3 主は遠くから彼に現れた。わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた。

31:4 イスラエルのおとめよ、再びわたしはあなたを建てる、あなたは建てられる。あなたは再び鼓をもって身を飾り、出て行って、喜び楽しむ者と共に踊る。

水曜日 4月1日 つながる

弟子たちはイエスのあとを追い、二階の広間から階段を降りて、通りに出ました。地球史上最も重要な夜の一つであったその夜、弟子たちはゲツセマネに向かって共に歩きながら、二階の広間でイエスが語られた最後の言葉がどれほど切実なものであったか、おそらく気づいていなかったでしょう。

問5 ヨハネ 15:1～11 で、イエスは何と言われましたか。

イエスご自身が語られたこれらの言葉は、神との親密な関係がどのようなものであるかを描いています。「つながる」という言葉〔“abide”〕が、2回どころか、10回も繰り返されていることに注目してください。イエスにつながるとは、彼と結びついて生きるということです。

十字架の前にされたイエスは、彼につながることの大切さを強調するだけでなく、それが私たちの人生においてどのようにあらわれることなのか、実際的な側面を明確に、しかも簡潔に述べておられます。

こういうことです。イエスがぶどうの木であり、私たちはその枝です。私たちがイエスにつながっていることの結果として、枝に実がなります。私たちは自分の力で実をならせることができません。時として、私たちはイエスにつながっているように見えるかもしれませんが、実のないことが証拠であり、やがて枝は枯れてしまいます。もし私たちが枯れてしまったら、農夫は最終的に枝を切り落とすでしょう。実を結ぶかどうかにかかわらず、枝は剪定されます。

それと同時に、私たちはみな、困難や苦しい瞬間に直面します。もし私たちが主につながっているなら、そのような瞬間も長期的に見て多くの実を結ぶでしょう。

実を結ぶことは、私たちが何者であるか(弟子であること)を証明します。私たちが実を結ぶのは、(自分自身にではなく)主に栄光を帰すためです。イエスにつながるとは、掟を守ることを意味します。それらの掟は、無私の愛という主の美しい品性を反映しています。イエスにつながるとは、大きな喜びをもたらします。イエスにつながるとは、主が私たちに求めになることを、主への応答として行うことを意味します。「神を愛するとは、神の掟を守ることです。神の掟は難しいものではありません」〔口語訳「神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。そして、その戒めはむずかしいものではない」〕(ヨハ 5:3)

イエスにつながるとは、私たちのラオディキア(ラオデキヤ)のような状態に対する解毒剤であり、また、地上と永遠の世界で充実した意味深い人生を送るための大いなる秘訣です。イエスは、「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい」〔口語訳「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛したのである。わたしの愛のうちにいなさい」〕(ヨハ 15:9)と言われます。〔イエスの愛は、私たちをイエスへと引き寄せる最も強い絆であり、〕彼の愛を知るとき、私たちは深く感動し、神と他者に愛をもって応えるでしょう。

8

ヨハ 15:1~11 (新共同訳)

15:1 「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。

15:2 わたしにつながっている枝で実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊かに実を結ぶように手入れをなさる。

15:3 わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。

15:4 わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。

15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

15:6 わたしにつながっていない人がいれば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。そして、集められ、火に投げ入れられて焼かれてしまう。

ヨハ 15:1~11 (口語訳)

15:1 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。

15:2 わたしにつながっている枝で実を結ばないものは、父がすべてこれをとりぞき、実を結ぶものは、もっと豊かに実らせるために、手入れしてこれをきれいになさるのである。

15:3 あなたがたは、わたしが語った言葉によって既にきよくされている。

15:4 わたしにつながっていないさい。そうすれば、わたしはあなたがたとつながっていよう。枝がぶどうの木につながっていないければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにつながっていないければ実を結ぶことができない。

15:5 わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっておれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである。

15:6 人がわたしにつながっていないならば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。人々はそれをかき集め、火に投げ入れられて、焼いてしまうのである。

15:7 あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。

15:8 あなたがたが豊かに実を結び、わたしの弟子となるなら、それによって、わたしの父は栄光をお受けになる。

15:9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。

15:10 わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。

15:11 これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。

15:7 あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

15:8 あなたがたが実を豊かに結び、そしてわたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。

15:9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛したのである。わたしの愛のうちにいなさい。

15:10 もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのと同じである。

15:11 わたしがこれらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにも宿るため、また、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである。

【参考】 John 15:1~11 (NKJV)

15:1 "I am the true vine, and My Father is the vinedresser.

15:2 Every branch in Me that does not bear fruit He takes away; and every *branch* that bears fruit He prunes, that it may bear more fruit.

15:3 You are already clean because of the word which I have spoken to you.

15:4 **Abide** in Me, and I in you. As the branch cannot bear fruit of itself, unless it **abides** in the vine, neither can you, unless you **abide** in Me.

15:5 "I am the vine, you *are* the branches. He who **abides** in Me, and I in him, bears much fruit; for without Me you can do nothing.

15:6 If anyone does not **abide** in Me, he is cast out as a branch and is withered; and they gather them and throw *them* into the fire, and they are burned.

15:7 If you **abide** in Me, and My words **abide** in you, you will ask what you desire, and it shall be done for you.

15:8 By this My Father is glorified, that you bear much fruit; so you will be My disciples.

15:9 "As the Father loved Me, I also have loved you; **abide** in My love.

15:10 If you keep My commandments, you will **abide** in My love, just as I have kept My Father's commandments and **abide** in His love.

15:11 "These things I have spoken to you, that My joy may remain in you, and *that* your joy may be full.

Iヨハ5:3 (新共同訳)

5:3 神を愛するとは、神の掟を守ることです。神の掟は難しいものではありません。

Iヨハ5:3 (口語訳)

5:3 神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである。そして、その戒めはむずかしいものではない。

キリストにつながることは、時として最も難しいことの一つのように感じられるかもしれませんが。それが必要なことだとわかっていても、生活のあわただしさに流され、すべてがあまりにも大変に思われるのです。特にイエスに従うようにと誰かからしつこく言われている人にとって、神に従うことが最大の重荷のように感じられることもあります。この種の宗教は、心の中のことより外面的な行為にばかりこだわるので、苦役のように感じられる可能性があります。神が望んでおられるのは、そのようなものではまったくありません。それは単なる規則によるものではなく、相互の愛が土台である関係、愛と自由な選択に基づく選ばれた関係(神がまずあなたを選ばれた関係)なのです。

私たちは時として、少しはぶどうの木につながっているものの、全身全霊でつながっていないことがあります。教会に通い、祈り、正しいとわかっていることを行っても、心の中では萎縮しています。真実はこうです。枝が自らぶどうの木につながれないように、私たち自身もイエスにつながることはできません。神がまず私たちを愛し、先に行動を起こしてくださいました。私たちの応答は常に、神がまず私たちのためにしてくださったことへの応答なのです。

ぶどうの木が冬をどのように越すのかを調べてみると、興味深い事実がわかるでしょう。枝の芽は水分を失い、春まで生育システムから切り離された状態になっています。やがて土が温まると、根が水分を吸い、樹液が幹を通して芽に流れ込み、成長し始めます。樹液が幹を流れなければ、成長は起こりません。

ぶどうの木の樹液は、私たちの生活における聖霊のようなものです。私たちは枯れた枝のような存在かもしれませんが、神と共に時間を過ごすことを選ぶとき、聖霊が根から上がって来る樹液のように私たちの中に注ぎ込まれ、私たちを生き返らせ、成長を始めてくださいます。イエスにつながりたいと意識的に選択する必要があるのと同じように、私たちは、聖霊(樹液)が私たちの生活に流れ込んでくださるように求めなければなりません。

問6 ルカ 11:13、エレミヤ 31:3、Iヨハネ 4:19、ローマ 8:9~11 を読んでください。ここでの最も重要なメッセージは、何でしょうか。

成長をもたらし、私たちが結実し、ぶどうの木につながれるようにしてくださるのは、聖霊です。私たちは毎日、**[地上でわたしたちと共にいる聖霊に]**以下のことを願い求める必要があります。

- 私たちの慰め主(弁護者)**[口語訳:助け主]**となってください(ヨハ 14:16~18)。
- イエスを私たちに示してください(同 15:26)。
- 私たちの罪を悟らせてください(同 16:7, 8)。

- 私たちをあらゆる真理へ導いてください(同 16:13)。

【参考】英語テキストにある文

Read this list again. How can each aspect of what the Holy Spirit does impact your relationship with God?

このリストをもう一度読んでください。聖霊の働きの一つ一つが、神との関係にどのような影響を与えるでしょうか。

9

ルカ 11:13 (新共同訳)

11:13 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

エレ 31:3 (新共同訳)

31:3 遠くから、主はわたしに現れた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し/変わることなく慈しみを注ぐ。

Iヨハ 4:19 (新共同訳)

4:19 わたしたちが愛するのは、神がまずわたしたちを愛してくださったからです。

ロマ 8:9~11 (新共同訳)

8:9 神の霊があなたがたの内に宿っているかぎり、あなたがたは、肉ではなく霊の支配下にいます。キリストの霊を持たない者は、キリストに属していません。

8:10 キリストがあなたがたの内におられるならば、体は罪によって死んでいても、“霊”は義によって命となっています。

8:11 もし、イエスを死者の中から復活させた方の霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリストを死者の中から復活させた方は、あなたがたの内に宿っているその霊によって、あなたがたの死ぬはずの体をも生かしてくださるでしょう。

ヨハ 14:16~18 (新共同訳)

14:16 わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる。

ルカ 11:13 (口語訳)

11:13 このように、あなたがたは悪い者であっても、自分の子供には、良い贈り物を知っているとしたら、天の父はなおさら、求めて来る者に聖霊を下さらないことがあるか。」

エレ 31:3 (口語訳)

31:3 主は遠くから彼に現れた。わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた。

Iヨハ 4:19 (口語訳)

4:19 わたしたちが愛し合うのは、神がまずわたしたちを愛して下さったからである。

ロマ 8:9~11 (口語訳)

8:9 しかし、神の御霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉におけるのではなく、霊におけるのである。もし、キリストの霊を持たない人がいるなら、その人はキリストのものではない。

8:10 もし、キリストがあなたがたの内におられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、霊は義のゆえに生きているのである。

8:11 もし、イエスを死人の中からよみがえらせたかたの御霊が、あなたがたの内に宿っているなら、キリスト・イエスを死人の中からよみがえらせたかたは、あなたがたの内に宿っている御霊によって、あなたがたの死ぬべきからだをも、生かしてくださるであろう。

ヨハ 14:16~18 (口語訳)

14:16 わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。

14:17 この方は、真理の霊である。世は、この霊を見ようとも知ろうともしないので、受け入れることができない。しかし、あなたがたはこの霊を知っている。この霊があなたがたと共におり、これから、あなたがたの内にいるからである。

14:18 わたしは、あなたがたをみなしごにはしておかない。あなたがたのところに戻って来る。

ヨハ 15:26 (新共同訳)

15:26 わたしが父のもつからあなたがたに遣わそうとしている弁護者、すなわち、父のもつから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。

ヨハ 16:7、8 (新共同訳)

16:7 しかし、実を言うと、わたしが去って行くのは、あなたがたのためになる。わたしが去って行かなければ、弁護者はあなたがたのところに来ないからである。わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところに送る。

16:8 その方が来れば、罪について、義について、また、裁きについて、世の誤りを明らかにする。

ヨハ 16:13 (新共同訳)

16:13 しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。

14:17 それは真理の御霊である。この世はそれを見ようともせず、知ろうともしないので、それを受けることができない。あなたがたはそれを知っている。なぜなら、それはあなたがたと共におり、またあなたがたのうちにいるからである。

14:18 わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところに帰って来る。

ヨハ 15:26 (口語訳)

15:26 わたしが父のみもつからあなたがたにつかわそうとしている助け主、すなわち、父のみもつから来る真理の御霊が下る時、それはわたしについてあかしをするであろう。

ヨハ 16:7、8 (口語訳)

16:7 しかし、わたしはほんとうのことをあなたがたに言うが、わたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのだ。わたしが去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はこないであろう。もし行けば、それをあなたがたにつかわそう。

16:8 それがきたら、罪と義とさばきとについて、世の人の目を開くであろう。

ヨハ 16:13 (口語訳)

16:13 けれども真理の御霊が来る時には、あなたがたをあらゆる真理に導いてくれるであろう。それは自分から語るのではなく、その聞くところを語り、きたるべき事をあなたがたに知らせるであろう。

金曜日 4月3日 さらなる研究

私たちが生まれる前から、神は私たちを愛しておられました。神が私たちを知り、私たちが神を知るための計画を、神はお持ちでした。神は良い羊飼いのように私たちを探し求め、神につながるよう、日々招いておられます。私たちはただ、神に答えることを選び、私たちの惨めさとラオディキア(ラオデキヤ)的な状態を神の良い賜物と交換するだけでよいのです(黙 3:18, 19 参照)。

ぶどうの木の枝がゆっくり成長するように、私たちと神との関係もゆっくり成長することもあれば、待望の雨が降って一気に成長することもあります。どれほどの速度で成長し、どれほど豊かな実を人生で結ぶかにかかわらず、イエスと確実につながっているためには、「樹液」、つまり聖霊が日々必要です。

「キリストにつながっているということは、その御霊を絶えず受けること、すなわちキリストの奉仕に無条件に服従する生活である。人と神との間に伝達のチャンネルが絶えず開かれていなければならない。ぶどうの枝が生きた木の幹から絶えず樹液を吸うように、われわれもイエスにより頼み、信仰によって主から力と主ご自身の完全な品性を受けるのである」(『希望への光』1032 ページ、「各時代の希望」第73章)。

「切り離されて乾いた若枝は、いかにして親木であるぶどうの幹と一体になるのだろうか。いかにして生きているぶどうの木の命と養分にあずかることができるのだろうか。それは、ぶどうの木に接ぎ木され、可能な限り密接な関係になることによるのみ可能なのだ。その小枝は、繊維ごとに、導管ごとに、命を与えるぶどうの木としっかり結びつき、やがてぶどうの木の命が枝の命となり、ぶどうの木と同じ実を結ぶのである」(『原稿67』1897年、英文)。

【参考】—— Ellen G. White, Manuscript 67, 1897.

“How is the dry disconnected sapling to become one with the parent vine stock? How is it to be made a partaker of the life and nourishment of the living vine? Only by being grafted into the vine, by being brought into the closest relationship possible. Fiber by fiber, vein by vein, the twig holds fast to the life giving vine until the life of the vine becomes one with the branch, and the branch produces fruit like that of the vine.”

話し合いのための質問

- ① あなたの人生を振り返ってみてください。あなたをラオディキア(ラオデキヤ)的な霊的状态に陥らせた人生の出来事で、何か思い当たるものがありますか。どんな出来事があなたを神に近づけましたか。
- ② エレン・ホワイトは、「その〔キリストの〕御霊を絶えず受けること」について述べています。あなたはどれくらいの頻度で聖霊を祈り求めていますか。もし毎日聖霊を受けるとしたら、何が変わるでしょうか。
- ③ 教会としての私たちが聖霊をより熱心に、より定期的に祈り求めるとしたら、何が変わるでしょうか。
- ④ 神との関係について、自分自身に厳しく、時には痛みを伴うほど正直になりましょう。神が望んでおられるにもかかわらず、あなたが妨げている神との親密さを得るために、あなたはどんな意識的選択をする必要がありますか。

【参考】英語テキストには最後に以下の文があります。

Summary: Before we can start growing in a relationship with God, we first have to pause to consider what our current relationship with Him is like. If it's Laodicean or if our branches are not flourishing, Jesus has the perfect solution for our spiritual condition: to abide in Him.

要約:神との関係を育み始める前、まずは立ち止まって、現在の自分と神との関係がどのようなものかを見つめ直す必要があります。もしそれがラオディキア(ラオデヤ)のような状態であったり、私たちの枝が実を結んでいないのであれば、イエス様は私たちの霊的な状態に対する完璧な解決策を用意しておられます。それは、イエス様につながる(とどまる)ことです。

10

黙 3:18、19 (新共同訳)

3:18 そこで、あなたに勧める。裕福になるように、火で精錬された金をわたしから買うがよい。裸の恥をさらさないように、身に着ける白い衣を買い、また、見えるようになるために、目に塗る薬を買うがよい。

3:19 わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。

黙 3:18、19 (口語訳)

3:18 そこで、あなたに勧める。富む者となるために、わたしから火で精錬された金を買い、また、あなたの裸の恥をさらさないため身に着けるように、白い衣を買いなさい。また、見えるようになるため、目にぬる目薬を買いなさい。

3:19 すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。